

小規模企業の景況

(平成31年1～3月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)平成31年1～3月期の結果概要は以下の通り。今期(平成31年1～3月期)の業況は、基調としては緩やかに改善している。業況DI値は前回調査から1.1ポイント改善、売上額DI値は悪化、資金繰りDI値は改善した。従業員DI値は2期連続で改善したが、産業別に見るとサービス業の「経営上の問題点」では「従業員の確保難」「熟練従業員の確保難」がそれぞれ順位を上げており、同業種において従業員数の不足感が強まっている。

1. 今期(平成31年1～3月期)の状況

【売上額】今期(平成31年1～3月期)の売上額DI値(全産業)は、前回調査(平成30年10～12月期)の(▲18.5)から0.6ポイント悪化し、▲19.1となった。業種別では前回調査から、卸売業が7.3ポイント、小売業が4.4ポイントそれぞれ改善し、製造業が8.2ポイント、サービス業が4.8ポイントそれぞれ悪化した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI値(全産業)は、前回調査(▲13.6)から2.1ポイント改善し、▲11.5となった。業種別では前回調査から、製造業が1.5ポイント、小売業が5.8ポイント、サービス業が5.1ポイントそれぞれ改善し、卸売業が4.8ポイント悪化した。

【業況】今期の業況DI値(全産業)は、前回調査(▲18.1)から1.1ポイント改善し、▲17.0となった。業種別では前回調査から、製造業が0.1ポイント、サービス業が5.1ポイントそれぞれ改善し、卸売業が0.3ポイント、小売業が1.4ポイントそれぞれ悪化した。

【従業員】今期の従業員DI値(全産業)は、前回調査(▲18.8)から1.8ポイント改善し、▲17.0となった。業種別では前回調査から、製造業が1.6ポイント、小売業が1.4ポイント、サービス業が4.0ポイントそれぞれ改善し、卸売業が0.3ポイント悪化した。

2. 来期(平成31年1～3月期)の予想

来期(平成31年1～3月期)の全産業の予想DI値は、売上額▲2.4、資金繰り▲9.4、業況▲6.6となった。

3. 経営上の問題点

第1位は、製造業が「原材料価格の上昇」「製品(加工)単価の低下・上昇難」「需要の停滞」の3項目、卸売業が「需要の停滞」、小売業が「利用者ニーズの変化への対応」、サービス業が「利用者ニーズの変化への対応」となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(平成30年1月～3月期)と比較して売上額、業況、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名:第155回中小企業景況調査(中小企業庁・中小企業基盤整備機構)
 - ・調査時期:平成31年2月22日～3月1日(前回:平成30年11月5日～11月15日)
 - ・調査方法:経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象:大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国7,988件中、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者(従業員:製造業20人以下、商業・サービス業5人以下)288件について取りまとめた。
- [製造業73件、卸売業65件、小売業69件、サービス業81件]

■DI値推移(全産業)

	152回調査	153回調査	154回調査 (前回)		155回調査 (今回)	
	H30(2018年) 4～6月期	H30(2018年) 7～9月期	H30(2018年) 10～12月期	H31(2019年) 1～3月期	H31(2019年) 1～3月期	H31(2019年) 4～6月期
売上額(増-減)	-11.8	-20.5	-18.5	-9.1	-19.1	-2.4
資金繰り(好-悪)	-9.7	-14.0	-13.6	-9.8	-11.5	-9.4
業況(好-悪)	-14.5	-21.9	-18.1	-15.0	-17.0	-6.6
従業員(過-不)	-17.0	-20.5	-18.8		-17.0	

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 → 需要の停滞 ↑ 製品(加工)単価の低下・上昇難 ↑	10 (12) 10 (11) 10 (7)	需要の停滞 →	19 (18)	消費者ニーズの変化への対応 →	12 (11)	利用者ニーズの変化への対応 →	16 (14)
2位			仕入単価の上昇 →	10 (16)	需要の停滞 ↑ 大型店・中型店の進出による競争の激化 ↓	11 (10) 11 (11)	従業員の確保難 ↑	10 (7)
3位			販売単価の低下・上昇難 ↑	8 (4)			大企業の進出による競争の激化 ↑ 熟練従業員の確保難 ↑ 需要の停滞 ↓	7 (6) 7 (7) 7 (11)

[注] () 内は前回(平成30年10～12月期)調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

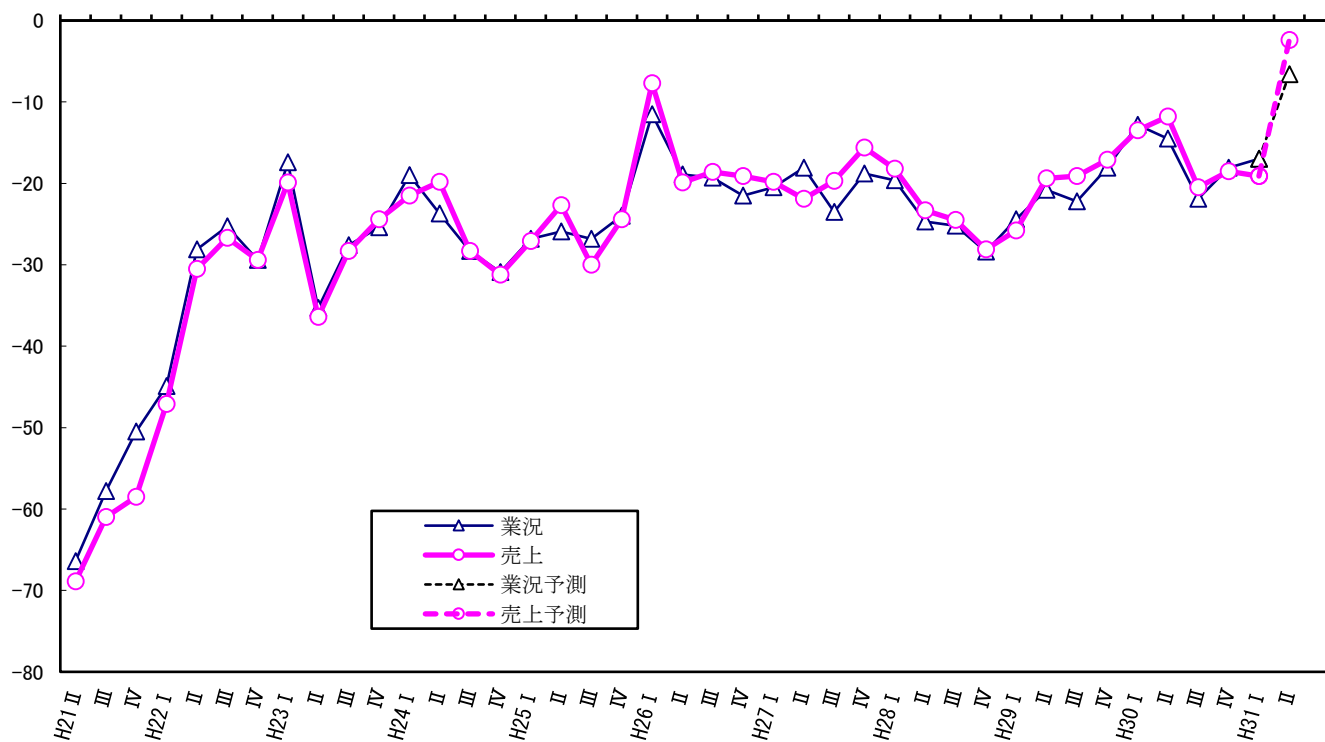
↓ = 前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(1~3月期)				前回(10~12月期)からの推移	来期の予想(4~6月期)			
		増加	不変	減少	増-減		増加	不変	減少	増-減
売上額										
	製造業	23.3	46.6	30.1	▲ 6.8	▲ 8.2	23.3	52.1	24.7	▲ 1.4
	卸売業	18.5	44.6	36.9	▲ 18.5	7.3	26.2	50.8	23.1	3.1
	小売業	13.0	30.4	55.1	▲ 42.0	4.4	18.8	47.8	33.3	▲ 14.5
	サービス業	25.9	37.0	37.0	▲ 11.1	▲ 4.8	25.9	49.4	23.5	2.5
	合計	20.5	39.6	39.6	▲ 19.1	▲ 0.6	23.6	50.0	26.0	▲ 2.4
前回	19.9	41.1	38.3	▲ 18.5		17.8	54.7	26.8	▲ 9.1	
資金繰り		好転	不変	悪化	好-悪		好転	不変	悪化	好-悪
	製造業	5.5	84.9	9.6	▲ 4.1	1.5	6.8	84.9	8.2	▲ 1.4
	卸売業	9.2	66.2	24.6	▲ 15.4	▲ 4.8	4.6	75.4	20.0	▲ 15.4
	小売業	4.3	73.9	21.7	▲ 17.4	5.8	8.7	69.6	21.7	▲ 13.0
	サービス業	12.3	63.0	22.2	▲ 9.9	5.1	11.1	65.4	19.8	▲ 8.6
	合計	8.0	71.9	19.4	▲ 11.5	2.1	8.0	73.6	17.4	▲ 9.4
前回	7.3	70.7	20.9	▲ 13.6		8.0	72.5	17.8	▲ 9.8	
業況		好転	不変	悪化	好-悪		好転	不変	悪化	好-悪
	製造業	13.7	65.8	19.2	▲ 5.5	0.1	17.8	64.4	15.1	2.7
	卸売業	12.3	53.8	33.8	▲ 21.5	▲ 0.3	18.5	53.8	26.2	▲ 7.7
	小売業	5.8	52.2	39.1	▲ 33.3	▲ 1.4	11.6	52.2	34.8	▲ 23.2
	サービス業	19.8	50.6	29.6	▲ 9.9	5.1	21.0	55.6	21.0	0.0
	合計	13.2	55.6	30.2	▲ 17.0	1.1	17.4	56.6	24.0	▲ 6.6
前回	14.3	51.2	32.4	▲ 18.1		14.3	54.4	29.3	▲ 15.0	
従業員		過剰	適正	不足	過-不					
	製造業	1.4	76.7	20.5	▲ 19.2	1.6				
	卸売業	1.5	73.8	20.0	▲ 18.5	▲ 0.3				
	小売業	1.4	76.8	10.1	▲ 8.7	1.4				
	サービス業	3.7	66.7	24.7	▲ 21.0	4.0				
	合計	2.1	73.3	19.1	▲ 17.0	1.8				
前回	1.7	71.4	20.6	▲ 18.8						

「今期の状況（除従業員）」は平成31年1~3月期状況であり、前年同期の平成30年1~3月期との比較。来期の予想は平成31年4~6月期予想であり、平成30年4~6月期との比較である。「前回」欄は平成30年10~12月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転-減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※平成31年 II 期は予想値